

活動履歴と今後の予定

- 7/9 第15回つながりデザイン会議
 7/13 北浜住宅役員会
 7/20 錦町東住宅世話人会
 八本松児童館協働企画・防災まちあるき
 7/25 錦町東住宅交流バスツアー
 7/28 清水沢東会夏祭り
 7/30 TBCラジオ出演
 8/10 錦町東住宅住民組織設立説明会
 錦町東住宅世話人会
 8/17-9/1 荒井東住宅居住者アンケート調査
 8/24 錦町東住宅設立準備会
 錦町食堂(by仙台白百合女子大)
 8/31 八本松児童館協働企画・防災マップづくり
 9/1 清水沢東3号棟役員会
 シェアハウスWG
 9/9 「3.11の今がわかる会議 in 東京」登壇
 9/14 錦町東住宅設立総会
 北浜住宅役員会
 八本松児童館協働企画・防災デイキャンプ
 9/15 プレーカーであそぼう!@玉浦西地区
 9/20 虎っこ隊お茶会@あすと第二
 9/26 すんぷちょ食堂(つなセン協力)
 9/28 昔あそびの会@玉浦西地区

あすと食堂
好評開催中です！

〈これまでの内容とこれからの予定〉 ＊カッコ内は調理担当団体です。

- 7/21 出張あすと食堂@シェアハウス(つなセン)
 7/28 あすと第二食堂(仙台白百合女子大)
 8/10 あすと第一食堂(仙台白百合女子大)
 8/17 あすと第三食堂(@グリーン)
 8/31 あすと第二食堂(ほっと亭)
 9/29 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)

お気軽に
ご参加
ください！

会員数
正会員 賛助会員
36 23
(±0) (±1)

facebook
いいね!数
466
(+12)

2019年9月1日 現在(前号比)

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町を拠点としつつ、そこで培われた復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆さまからの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願い致します。

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。
 ・正会員：年間6,000円・総会議決権あり
 ・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町
 ●郵便振替：02230-8-121908
 ●銀行振込：ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人 日本で・あーて推進協会 NPO法人 クラップス
 NPO法人 アートワークショップすんぷちょ NPO法人 仙台傾聴の会 NPO 都市住宅とまちづくり研究会
 NPO法人 東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねい」と 株式会社 ミツイ 共立女子大学 高橋研究室
 グループひまわり CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産 株式会社
 仙台白百合女子大学 佐々木研究室 仙台南健康友の会 つばさ薬局 長町店 東北工業大学 新井研究室
 東北大学 東日本大震災PGT支援機構 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
 長崎大学 安武研究室 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ
 宮城厚生協会 長町病院 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社 栗駒建業

役員名簿

代表：平泉 拓
 副代表：新井 信幸
 副代表：薄田 榮一
 理事：宮本 愛
 理事：加藤 涉
 理事：森山 英子
 監事：坂本 泰伸

編集後記

先日都内で登壇した復興支援のシンポジウムにて、原発被災した飯館村に帰還された方の話を伺った。除染は家の敷地内、道路、田畑のみで、地域の大部分を占める山林や川は除染されず、そこでとれるキノコや魚は絶対食べるなど言われているようだ。それでも役場は安全だと言い、帰還を促すとともに、村外避難者への支援終了を宣言している。現在の帰還率は20%程度。「ふざけるな!」と彼は叫んだ。福島の実現に目を背けず、今後も「復興」について考えていきたい。(新井)

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒982-0011 仙台市太白区長町六丁目4番17-502号

TEL 080-3205-5177
 MAIL asuto@tsuna-cen.com
 WEB www.tsuna-cen.com

GOOD DESIGN AWARD 2018

12
2019.09つなセン
TSUNAGARI Design Center
NEWS

多世代が集う場となっている「あすと食堂」

誰かと一緒に、おいしいごはん

塩竈市災害公営コミュニティ それぞれのまちのできごと
 市営荒井東住宅で支援開始
 八本松児童館の防災イベントへの協力
 【団体紹介】NPO法人 アートワークショップすんぷちょ

活動報告

Main Topic



あすと食堂の取組み

宮城県仙台市太白区あすと長町ほか

1 あすと食堂とは

今、全国で「地域食堂」や「こども食堂」といった取組みが広がり、単身化や核家族化が進む中で「誰かと一緒に食事をすること(共食)」の大切さが見直されています。共食は食事を通じたコミュニケーションの機会となるだけでなく、共食が多い人は孤食の多い人に比べ、多様で健康的な食品の摂取が多く、生活リズムが整っている等、健康とも関係あることが報告されています[※]。

あすと食堂は、食事を通じて孤立を防ぐことを目的に、災害公営住宅の集会所で開催している食事会です。2016



▲ほっと亭のメンバーは主婦歴ウン十年のお母さんたち。いつも懐かしい家庭の味を届けてくれます。

年11月に始まり、これまで2年10ヶ月の間に計88回開催し、参加者、ボランティア、スタッフを含め延べ2,622人が参加しました。

特徴は、①様々な団体が料理当番となり、交代制で調理を担当していること、そして②自前の会場を持たずに災害公営住宅の集会所を活用して開催していることです。場所は、仙台市あすと長町の市営住宅を中心に、塩竈市北浜住宅、錦町住宅等でも試行を始めています。参加費は大人300円、学生・子ども100円で、食材の購入に充てています。

これまで料理当番を担当してくれた団体は14団体。団体毎に、毎月、2ヵ月に1回、年に1回等、それぞれ可能な範囲で定期的に支援いただいています。



▲フレッシュな仙台白百合女子大の皆さん。この日は初のバイキング形式に挑戦しました。

■主な料理当番の皆さん

- ・ほっと亭(高齢者配食サービス)
- ・仙台白百合女子大学佐々木ゼミ
- ・@グリーン(宮城大学ボランティアサークル)
- ・みやぎセントラルキッチン ・KABO.

■食堂用備品

- ・調理用テーブル(4台)
- ・炊飯器(一升炊き2台)・カセットコンロ(3台)
- ・調理器具(鍋、フライパン、ざる、ボウル等)
- ・食器類(皿、カップ、カトラリー、トレイ等)
- ・常備調味料(醤油、酒、塩、砂糖、食用油等)
- ・消耗品類(キッチンタオル、ラップ、洗剤等)

※)『食育』ってどんないいことがあるの?～エビデンス(根拠)に基づいて分かったこと～Part2)農林水産省、平成31年3月

2 多様な主体の連携が鍵に

料理当番は、メニュー決め、材料の買出し、当日の調理・配膳、食器洗いと片付けまでを、概ね4～5人のメンバーで行います。会場予約や広報、会場設営、受付、会計等、イベント開催にまつわる細々した作業は事務局側で行っています。ひとつの団体ですべてをやると思わず、得意分野を活かして関わってもらっているのが長続きの秘訣かもしれません。

自前の会場を持たないことで課題となるのが、備品の保管と搬出入です。現在は、市営住宅倉庫と外部倉庫をお借りし、2箇所に分けて保管しています。30食分の調理と配膳を完結できるようにしているので、備品量は車のトランク2台分ほど。毎回、開始前に事務局とボランティアで会場まで運び、終了後に撤収しています。大変ですが、シンクさえあれば、どこへでも出かけていって開催できる、というのが強みでもあります。

また、毎月1回は、つなセン事務局、主な料理当番、災害公営住宅の入居者等が参加するワーキンググループ会議を開催して、2、3ヵ月先の予定の調整や改善点の話し合いを行っています。

3 より開かれた場を目指して

約3年間続けてきたあすと食堂ですが課題もあります。当初は、参加者にも調理をお手伝いいただき、「一緒につくって一緒に食べる」という雰囲気もありましたが、回を重ねるに連れ、段取りが洗練されてくる一方で、つくる人、食べる人という役割が固定化してきました。もう少し、つくる側と食べる側が入り交じる場面があってもいいのかなと感じています。

もう一つは参加者の広がりです。複数の会場で行っていますが、場所によって参加者が広がり浸透・定着しているところと、常連以外に裾野が広がらないところがあります。個別の事情はありますが、それぞれ要因を分析して、より多様な方が参加しやすく、孤立を防ぐという目的に近づけるよう工夫を重ねていきたいと考えています。

※あすと食堂は公益財団法人味の素ファンデーションの支援を受けて開催しています。

会員
団体紹介
No.12

NPO法人

アートワークショップすんぷちよ



年齢や性別、国籍、障がいを問わずすべての人がアートを楽しむことを目指し、仙台市を中心に活動する団体です。“すんぷちよ”という可愛い名前、仙台弁で“急須”という意味から名づけられたそうです。

年齢や障害の有無を問わずに誰でもが一緒に楽しく、身体と心を動かす場づくりを目指し月1回開催しているダンスワークショップや、イベントや舞台公演などでのパフォーマンスを目指したパフォーマンスクラス、高齢者施設などの依頼を受けてアーティストとのマッチング、出前ワークショップの開催なども行っています。

あすと長町では9月から、毎月第4金曜日にあすと長町第二市営住宅集会所において“すんぷちよ食堂”をオープンします。オリジナルソング「あすと音頭」にあわせて参加者とともにリズム体操を楽しみ、食堂も開かれ、子どもから大人まで集まり楽しめる場を提供します。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

Topics

塩竈市災害公営コミュニティ それぞれのまちのできごと

昨年度から塩竈市の委託を受けコミュニティ支援をしている塩竈市災害公営住宅団地の様子をお伝えします。

清水沢東住宅では、東会と3号棟自治会で夏の恒例行事となっている夏祭りとパーベキュー会がそれぞれ開催されました。夏祭りではパン食い競争や縁日、ステージイベントが行われ、パーベキュー会では



は美味しいお肉や魚介類が並び、住民同士が協力し合い、盛大に開催されました。

今年3月に住民組織が立ち上がった北浜住宅では、毎月1回役員会が開かれています。7月には、4月から始まった共益費の

集金状況の確認と10月に開催予定の一斉清掃イベントについて話し合い、清掃範囲の確認や準備物の確認を行いました。

錦町東住宅では、今年3月に立ち上がった世話人会を中心に月1回の会合や花壇の手入れ、住民交流イベントなどが開かれています。世話人会は正式な住民組織設立に向けた準備組織で、8月から組織名や規約の検討、加入届の配布、回収などの準備が進められてきましたが、いよいよ、9月14日に設立総会が執り行われる予定です。



市営荒井東住宅で支援開始

荒井東住宅(仙台市)は298戸の災害公営住宅(2014年4月入居開始)で、昨年暮れに孤独死が発生するなど、居住者の孤立の問題がNHK特集でも取り上げられました。今年6月に、自治会加入率は50%程度で地域運営に苦慮されているという話を役員の方々からお聞きしたのをきっかけに、つなセンとして、見守り体制検討、交流会開催、調査等の支援を



実施していくこととなりました。8月下旬にはアンケート調査を東北工大新井研等と協働で開始し、結果報告会を10月に同住宅集会所にて開催する予定です。荒井東での取り組みについては、今後も随時ご報告致します。

八本松児童館の防災イベントへの協力

あすと長町近傍にある八本松児童館(運営:NPOみやぎ・せんだい子どもの丘)より事業協力の依頼を受け、今年5月から防災キャンプ、防災マップづくりのお手伝いしています。6月に開催した防災キャンプでは、児童館を避難所に見立てて宿泊体験を行い、30名程の小学生たちが参加しました。防災マップづくりでは、事前に行ったまちあるきを基に、児童館にて町の模型づくりを行いました。今後は2回目の防災キャンプを9月、2回目の防災マップづくりを11月に開催予定です。また災害公営住宅のお年寄りや児童館に集まる子どもたちとの多世代交流の機会も企画していきたいと思っています。

